平成 25 年８月 29 日

各 位

株式会社　ストリーム
代表取締役社長 劉 海涛
（コード番号：3071 東証マザーズ）
問合せ先 取締役管理本部長 土屋　敏
（TEL03-6858-8189）

特別損益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年1月期第2四半期累計期間（平成 25 年2月１日～平成 25 年7月 31 日）において、特別損益を計上いたしますのでお知らせいたします。

あわせて最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年3月 13 日に公表した平成 26 年１月期の第２四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損益の計上について

(1) 出資金売却益の計上について

① 当該事象の内容

平成 25 年5月 31 日に当社の所有する出資金の一部を売却したことにより、出資金売却益を計上することといたしました。

② 当該事象の損益に与える影響

平成 26 年１月期第２四半期の連結財務諸表及び個別財務諸表において出資金売却益 118,882 千円を特別利益に計上いたします。

(2) 解約違約金の計上について

① 当該事象の内容

平成 25 年7月１日に当社が定期建物賃貸借契約を締結している物流倉庫の一部返却に伴う契約蒔き直しにより、違約金が発生し、解約違約金を計上することといたしました。

② 当該事象の損益に与える影響

平成 26 年１月期第２四半期の連結財務諸表及び個別財務諸表において解約違約金 29,442 千円を特別損失に計上いたします。

(3) 関係会社株式評価損の計上について

① 当該事象の内容

当社が保有する関係会社株式のうち、実質価額が著しく下落した連結子会社株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損を計上することといたしました。

② 当該事象の損益に与える影響

平成 26 年１月期第２四半期の個別財務諸表において、関係会社株式評価損 24,160 千円を特別損失に計上いたします。なお、当該関係会社株式評価損は連結上消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

(4) 連結子会社における過年度関税の計上について

① 当該事象の内容

平成 25 年6月 25 日に存外連結子会社が当社からの輸入に係る関税について延滞税等が発生したため、過年度関税を計上することといたしました。

② 当該事象の損益に与える影響

平成 26 年１月期第２四半期の連結財務諸表において過年度関税 47,458 千円を特別損失に計上いたします。

(5)投資有価証券評価損について

① 当該事象の内容

当社が保有する「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復可能性があると認められないものについて減損処理を実施し、投資有価証券評価損を計上することといたしました。

② 当該事象の損益に与える影響

平成 26 年１月期第２四半期の連結財務諸表及び個別財務諸表において投資有価証券評価損 21,474 千円を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 26 年1月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 25 年2月1日～平成 25 年7月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,091	△91	△99	△131	△3,308.52
今回修正予想(B)	7,299	△164	△161	△140	△3,529.17
増減額(B－A)	△2,792	△73	△62	△8	―
増減率(%)	△27.7	―	―	―	―
(ご参考) 前期第２四半期実績	12,166	△297	△300	△394	△9,901.21

(2) 平成 26 年１月期 通期連結業績予想の修正(平成 25 年2月1日～平成 26 年1月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,825	215	201	136	3,432.47
今回修正予想(B)	17,724	10	14	2	73.89
増減額(B－A)	△5,101	△205	△187	△133	―
増減率(%)	△22.4	△95.2	△93.0	△97.8	―
(ご参考) 前期実績	22,615	△1,054	△1,040	△1,237	△31,094.53

(3) 平成 26 年1月期 第2四半期累計期間個別業績予想の修正(平成 25 年2月1日～平成 25 年7月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,135	△74	△107	△2,635.69
今回修正予想(B)	4,179	△107	△65	△1,651.26
増減額(B－A)	△2,955	△33	41	―
増減率(%)	△41.4	―	―	―
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	8,947	△194	△297	△7,476.02

(4) 平成 26 年1月期 通期個別業績予想の修正(平成 25 年2月1日～平成 26 年1月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,160	111	46	1,158.00
今回修正予想(B)	10,435	△4	2	57.44
増減額(B－A)	△5,725	△115	△43	―
増減率(%)	△35.4	―	△95.0	―
(ご参考) 前期実績	15,688	△459	△1,039	△26,130.54

(5) 修正の理由

(連結業績予想)

当平成 26 年1月期第 2 四半期連結累計期間におけるインターネット通販事業におきましては、企業収益や個人消費に回復傾向がみられ、家電小売業界におきましても、年内に業績回復が出来るものと期待しておりますが、しかしながら、当社においては、商品仕入について予想以上に厳しい条件となり、結果的に商材の確保が難しい状況が続き、又、ネット通販と量販店との価格競合等の市場環境の厳しい状況が続いております。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間において、売上、利益面においては、当初予想より大きく下回り業績修正を行うに至りました。

(個別業績予想)

個別業績予想の修正理由は連結業績予想に記載のインターネット通販事業の内容と同様であります。

以上